

7 月 20 日：指数は下落も工業団地関連が上昇

工業団地関連銘柄が月曜日に上昇し相場の下落を和らげた。市場は警戒感が高まっていた。

ホーチミン取引所の VN 指数は 1.22% 安の 861.40 ポイントで取引を終えた。

VN 指数は 0.09% 高で先週を終えていた。

VN30 指数は 1.33% 安で終えたが、VN30 先物は 1.41% 安の 796.50 ポイントで取引を終えた。

中小型株指数も 1.11%、0.67% 安となった。

VN30 指数採用銘柄の流動性も低下した。

大きく下落したのはコテコンズ建設 (CTD)、バオベトホールディングス (BVH)、ビンコムリテール (VRE)、ペトロリメックス (PLX)、マッサングループ (MSN) などであった。

それらの銘柄は 2.1-4.3% 安となった。

世界の株式市場と同様にベトナム株も下落した。EU や米国の新型コロナ対策のためのさらなる経済支援策を待っていたと証券会社は語った。

投資家は新型コロナの感染拡大と第 2 四半期決算という 2 つのイベントに注目していると Thanh Cong 証券はデイリーレポートで語った。

セクターごとでは、不動産、銀行、証券、保険、小売、飲食料品、鉱業・エネルギーなどが 0.9-3.7% 下落した。

しかし、工業団地ではポジティブな兆候が見られた。

日本政府が工場を中国からベトナムを含む東南アジアに移すように発表してから工業団地株が上昇した。

タントオ投資 (ITA)、ロンハウコーポレーション (LHG)、キンバックシティ (KBC)、ソナデジチャウドック (SZC) などが 2.4-6% 上昇した。

VN30 の現物の先物の差が投資家の悲観的な見通しを表しているとサイゴンハノイ証券は語った。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.93% 安の 115.72 ポイントで取引を終えた。

同指数は先週 1% ほど上昇していた。

出来高は 3 億 3000 万株で売買代金にして 5.29 兆ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。